

研究紀要

第 38 号

平成8年7月

島根大学教育学部附属中学校

目 次

第一部 共同研究「自ら学ぶ力」が育つ学習指導 — 総合学習を通して —

| | |
|---|----|
| 第1章 研究の構想 | 1 |
| I 研究の歩み | 1 |
| II 本年度の研究構想 | 3 |
| 第2章 総合学習 | 8 |
| I 総合学習の基本的な考え方 | 8 |
| II テーマ「環境」の実際 | 16 |
| 1 環境教育の視点からみた総合学習 — 「都市環境を考える」を通して — | 16 |
| 2 表現活動を生かしたまとめ — 「都市環境」を通して — | 20 |
| 3 社会人講師を活用し、調査活動を工夫した実践 — 「宍道湖」を事例として — | 24 |
| 4 体験を生かした総合学習 — EMを利用した環境教育の実践 — | 28 |
| 5 遊びに関するレポート作成と子どもの生き方を考える — 「こどもと環境」を通して — | 32 |
| 6 演劇活動を取り入れた総合学習 — 「演劇を通して思いを伝えよう」を通して — | 36 |
| III テーマ「国際理解」の実際 | 40 |
| 1 比較によって自文化を知り、国際理解の基盤を作る — 「日本・日本人を考える」を通して — | 40 |
| 2 追求テーマを生かした総合学習 — 「数学と文化」を通して — | 44 |
| 3 体験を生かした総合学習 — 「郷土芸能・安来節の魅力を探る」を通して — | 48 |
| 4 追求テーマを生かしたまとめの工夫 — 「文化の違いを探ろう」を通して — | 52 |
| 5 社会人講師を活用した体験の工夫 — 「食文化を通して国際理解を探めよう」を通して — | 56 |
| 6 体験を生かした総合学習 — 「スポーツトレーニングの今昔」を通して — | 60 |
| 7 合科的学習（美術科・英語科）を取り入れた総合学習（国際理解教育の視点から） — 「あの子の笑顔が見たいから～海を越えて君の心を届けよう」を通して — | 64 |
| IV テーマ「福祉体験」の実際 | 68 |
| 1 体験を生かした総合学習 — 「老人の方の入浴介助に挑戦しよう」を通して — | 68 |
| 2 総合学習の基本を学び、体験を生かした「福祉」の学習 — 「附中生にできる福祉活動」を通して — | 71 |
| 3 体験を生かした総合学習 — 「手話の世界」を通して — | 76 |
| 4 主体的な活動をもたらす体験の工夫 — 「あの子の笑顔に出会いに行こう」を通して — | 79 |
| 5 調査、体験に必要な技能習得をめざした総合学習 — 「お年寄りは何を考えているか」を通して — | 83 |
| 6 障害者との交流体験を生かした総合学習 — 「養護学級と交流しよう」を通して — | 86 |
| 7 身障者の立場を考えた総合学習 — 「福祉マップを作ろう」を通して — | 89 |
| 第3章 研究の成果と今後の課題 | 91 |

第二部 個人研究

| | | |
|--|-------|-----|
| 英語教師の力を問う — 何を鍛えたらよいか — | 山田 政美 | 101 |
| 蔵書印からみた藩校の機能について — 松江藩修道館文庫印譜ならびに史料目録の作成を通して — | 梶谷 光弘 | 111 |
| ワルシャワ日本人学校の国語実践（1991年4月から1993年3月までの活動と実態を中心に） | 寺本 学 | 133 |
| 言葉の背景にある情報を教えるⅢ — インターネットを利用した英語の授業実践から：第一学年への指導を通して — | 渡部 睦浩 | 183 |

第三部 個人研究・活動報告

| | |
|-----------|-----|
| 個人研究・活動報告 | 195 |
|-----------|-----|

個人研究・活動報告

1. 著 書

- 山田 政美 H. 7. 5 (1995) [共著]『TOEIC リーディングがこんなに分かる本』横浜：ユニコム。
[共著者：G. ストリッカーズ] Pp. 239。

2. 論 文

- 山田 政美 H. 7. 3 (1995) 「「さいふ」は *purse* か—英語教師に問われる英語力—『研究紀要』第37号、島根大学教育学部附属中学校、pp. 1—8。
- H. 7. 4 (1995) 「和英辞典紹介」*Professional English*. Vol. 20、No. 8 (『翻訳の世界』4月号臨時増刊)、1995年4月号、バベルプレス、pp. 42—45。
- H. 7. 7 (1995) 「学習者のために生まれた英英辞典 *Cambridge International Dictionary of English*」『翻訳の世界』Vol. 20、No. 13、1995年7月号、バベルプレス、pp. 6—9。
- H. 8. 2 (1996) 「翻訳の思わぬハードル固有名詞」『翻訳の世界』Vol. 21、No. 3、1996年2月号、バベルプレス、pp. 12-13。
- H. 8. 2 (1996) 「英英辞書に挑む—情報を手繰り寄せる視点」『現代英語教育』Vol. 32、No. 11、1996年2月号、研究社出版、pp. 20—21。
- H. 8. 3 (1996) 「*Walkmen or Walkmans?*—欠落した言語文化の記述」『英語教育と英語研究』第13号、島根大学英语科教育研究室、pp. 24—42。
- 宮本 夏子 H. 7. 3 (1995) 「本校生徒の伝承集団遊びと本校教育」『研究紀要』第37号、島根大学教育学部附属中学校、pp. 9—20。
- 梶谷 光弘 H. 7. 3 (1995) 「松江藩算術方における和算教育について—『定位秘法及随毛術誓約』者の年譜を通して」『研究紀要』第37号、島根大学教育学部附属中学校、pp. 21—56。
- H. 7. 6 (1995) 大会参加記「さわやかに、そして楽しく第18回全国地方教育史学会」全国地方教育史学会通信第65号。
- 寺本 学 H. 7. 8 (1995) 「『話し合い』の基礎・基本を身につけるために」『月刊 国語教育』1995、Vol. 15、東京法令出版、pp. 36—39。
- H. 7. 12 (1995) 「主体的な言語行動者の育成」『教育科学 国語教育』No. 518、1995年12月号、明治図書、グラビア3ページ。
- H. 8. 2 (1996) 「単元『日本・日本人を考える』—情報をいかにして集め、選択し、そして活用するか—『教育科学 国語教育』1996、No. 520、2月号、明治図書pp. 81—84。
- H. 7. 3 (1995) 「国語科における国際理解教育单元への試み」『研究紀要』第37号、島根大学教育学部附属中学校、pp. 57—82。
- H. 7. 9 (1995) 「ワルシャワ日本人学校と国語科実践報告」『国語教育論叢』第5号、島根大学教育学部国文学会、1995. 9. 1、pp. 1—18。
- 小村のり子 H. 8. 2 (1996) 「一人ひとりの実態に応じた指導—個性や能力が十分発揮できるような教育的援助や子ども理解について」『一人ひとりを生かす障害児教育』第18回

- 障害児教育を語る会 研究紀要、pp.31-38。
- 斎藤 英明 H. 8. 2 (1996) 「特殊学級の子どもと社会とのかかわり」『一人ひとりを生かす障害児教育』第18回障害児教育を語る会 研究紀要、pp.59-68
- 長沢 郁夫 H. 7. 7 (1995) 「マルチメディアを生かした技術・家庭科における個の学び方に応じた学習支援システムの開発と活用」平成6年度視聴覚教育研究助成レポート、松下視聴覚教育研究財団、pp. 96-97。
- H. 7. 8 (1995) 「コンピューターを利用した木材加工領域における教師用製作題材選定システムの開発」『日本産業技術教育学会誌』第37巻第3号、pp. 23-28。
- H. 7. 8 (1995) 「バイメタルの実験学習」『技術教室』1995年8月号、農山漁村文化協会、pp. 11-17。
- H. 7. 11 (1995) 「個を生かし、学ぶ意欲と実践する力を育てる学習指導のあり方」第33回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会島根大会要録、pp. 11-22。
- H. 7. 11 (1995) 「おふるブザつき簡易テストの製作」「AMラジオの製作」『技術・家庭科実践アイデア集』島根県中学校技術・家庭科研究会編、pp. 14-19。
- H. 8. 2 (1996) 「EMを利用した環境教育の実践」『技術教室』1996年2月号、農山漁村文化協会、pp. 18-25。
- 佐藤 文宣 H. 7. 12 (1995) 「主体的な言語行動者の育成」『教育科学 国語教育』No. 518、1995年、12月号、明治図書、グラビア3ページ。
- 渡部 睦浩 H. 7. 3 (1995) 「言葉の背景にある情報を教えるⅡ」『研究紀要』第17号、島根大学教育学部附属中学校、pp. 97-110。
- H. 8. 3 (1996) 「インターネット（電子メール）によるコミュニケーション活動の実践——グローバル・インターネット・Eメールプロジェクト in Fuzoku JHS (GIEPF)：一年生の英語学習の実践を通して」『教育実践研究指導センター紀要』第6号。島根大学教育学部教育実践研究指導センター、pp. 53-62。
- 三島 香子 H. 7. 12 (1995) [共著]「中学校家庭科における環境教育の授業実践—家庭生活と地域の環境—」『島根大学教育学部紀要』第29巻、教育科学編、pp.49-57。

3. 報告書

- 梶谷 光弘 H. 8. 1 (1996) [共同執筆]『平成7年度国立大学・学部附属学校等教官海外教育事情視察派遣報告書』平成7年度文部省海外教育事情視察B団、文部省、Pp.25、Pp. 45、Pp.79。

4. 実技・作品

- 今岡 正治 H. 7. 4 (1995) 松江ウインドアンサンブル第9回スプリングコンサート指揮、プラバホール、シャブリエ狂詩曲「スペイン」他。
- H. 7. 8 (1995) ミュージカル「あいと地球と競売人」指揮、島根県民会館大ホール。
- H. 7. 10 (1995) ねんりんピック島根、音楽祭シルバーオーケストラ指揮、島根県民会館大ホール 交響詩「フィンランディア」他。

- 今岡 正治 H. 7. 11(1995) 山陰フィルハーモニー管弦楽団東出雲公演、指揮、東出雲町出雲郷小学校体育館、ドボルザーク「交響曲第8番」他。
- H. 8. 2(1996) 山陰フィルハーモニー管弦楽団第21回定期演奏会、指揮、松江市プラバホール、ブラームス「交響曲第1番」他。
- 持田 隆志 H. 7. 10(1995) 第63回独立展入選、題「とべない鳥」F100(油彩)。
- 布野 浩志 H. 7. 8(1995) ミュージカル「あいと地球と競売人」競売人役として出演。

5. 研究発表

- 浜田 裕三 H. 7. 11(1995) 「コンピュータを利用した計測装置の開発」応用物理学会応用物理教育分科会、島根大学。
- 寺本 学 H. 7. 5(1995) 「『個が生きるための学習指導への提案』—新しい学力観に立つ授業への提案—」平成7年度島根県立松江教育センター研究発表会、島根県立松江教育センター。
- H. 7. 11(1995) 「『ワルシャワ日本人学校での国語実践』—国と児童・生徒のかかわりを求めて—」平成7年度大村はま国語教室の会、東京 番町小学校。
- 斎藤 英明 H. 7. 8(1995) 「進路保障～社会自立につながる進路指導～」第22回中国地区障害児教育研究大会、広島県竹原市大広苑。
- H. 7. 11(1995) 「社会に主体的にかかわる力を育てる進路指導」日本教育大学協会、全国特殊教育研究部門合同研究集会、長崎厚生年金会館。
- 長沢 郁夫 H. 7. 7(1995) 「技術・家庭科木材加工実習における木工具管理システムの開発と運用」日本産業技術教育学会第38回全国大会、広島大学。
- H. 7. 8(1995) 「AMラジオの題材開発と実践」第44次技術教育・家庭科教育全国研究大会、日本青年館。
- H. 7. 8(1995) 「EMを利用した中学校における栽培学習と環境教育の実践」EM活用事例報告会、島根県民会館大ホール。
- H. 7. 11(1995) 「個を生かし、学ぶ意欲と実践する力を育てる学習指導のあり方」第33回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会島根大会、石央文化ホール。
- 持田 隆志 H. 7. 8(1995) 実践発表「より存在価値のある美術教育を目指して」子どもの美術教育を語る会、三瓶。

6. 公開授業

- 宮本 弘和 H. 7. 10(1995) 単元「三角形の内角の和」第2学年1組 島根大学教育学部附属中学校、教育実地研究I。
- 寺本 学 H. 7. 5(1995) 帯単元「みんなの声」、単元「あいうえお研究会」1年2組、1年4組 島根大学教育学部附属中学校、平成7年度島根県立松江教育センター研究発表会のための公開授業、(ビデオ撮影で5月19日公開)。
- H. 7. 5(1995) 帯単元「みんなの声」、単元「早口言葉」1年2組、1年3組 島根大学教育学部附属中学校、鳥取県大栄中学校学校訪問のための公開授業。

- 寺本 学 H. 7. 8 (1995) 単元「ことばさがし」1年4組 島根大学教育学部附属中学校、第39回島根国語懇話会研究大会公開授業、「いきいきとした国語学習室の創造」。
- H. 7. 10(1995) 単元「失敗から得たこと」—スピーチ練習1、失敗シンポジウム—1年1組 島根大学教育学部附属中学校、教育実地研究I
- 長岡 素巳 H. 7. 5 (1995) 単元「地租改正」(歴史的分野) 2年4組島根大学教育学部附属中学校、平成7年度中学校社会科教育講座、島根県立松江教育センター。
- 小村のり子 H. 8. 2 (1996) 生活単元学習「ぼくたち・わたしたちの紙を作ろう」障害児教育を語る会、事前校内研修会公開授業。
- H. 8. 2 (1996) 生活単元学習「ぼくたち・わたしたちの紙を作ろう」第18回障害児教育を語る会。
- 斎藤 英明 H. 8. 2 (1996) 生活単元学習「卒業に向けて」第18回障害児教育を語る会。
- 渡里 恭子 H. 8. 2 (1996) 生活単元学習「小豆を使った料理をしよう」第18回障害児教育を語る会。
- 佐藤 文宣 H. 7. 11(1995) 単元「母校の校歌を見つめて」3年2組 島根大学教育学部附属中学校、平成7年度中学校・高等学校国語科教育講座公開授業、平成7年度島根県立松江教育センター。
- 渡部 睦治 H. 7. 11(1995) 「スキットを発表しよう。」1年2組、島根大学教育学部附属中学校。[既習、未習の文型を用いて、スキット(英語による寸劇)を作成し発表しあう]

7. 指導講師・講演講師

- 宮本 弘和 H. 7. 6 (1995) 講義「よりよく生きようとする生徒の育成と数学の学習」平成7年度中学校数学科教育講座、島根県立松江教育センター。
- H. 7. 10(1995) 指導講師「第28回中国・四国数学教育研究(松山)大会」第1分科会・教育課程・学習指導法 松山市立松山東中学校。
- H. 7. 12(1995) 講義「学習指導の充実」教育実地研究、島根大学教育学部。
- 梶谷 光弘 H. 7. 5 (1995) 第18回全国地方教育史学会開催責任者：島根大学教育学部・島根県立図書館。
- H. 7. 5 (1995) 第18回中等教育史研究会開催責任者：島根大学教育学部。
- H. 7. 5 (1995) 講演「松江北高等学校および島根県立図書館所蔵資料について」島根県立図書館、第18回全国地方教育史学会。
- H. 7. 5 (1995) 講演「島根大学附属図書館所蔵軍務図書ならびに日赤病院附属図書館所蔵医学関係書籍について」島根大学一般講義棟、第18回全国地方教育史学会。
- 寺本 学 H. 7. 10(1995) 指導講師「確かな言葉の力と豊かな心を育てる国語教育」第25回島根県国語教育研究大会、安来市立第二中学校。
- H. 7. 10(1995) 指導講師「自分の思いを心豊かに表現できる子どもをめざして」校内研修会、美保関町立千酌小学校。
- H. 7. 7 (1995) 講義「教えることと教えられること」国語科教育法、島根大学教育学部。
- H. 7. 11(1995) 指導講師「単元学習への提案」平成7年度中学校・高等学校国語科教育講座、平成7年度島根県立松江教育センター。
- 奥村 泰磨 H. 7. 8 (1995) 講義「教材研究の仕方について」平成7年度島根県初任者教員研修講座、島

- 根県立松江教育センター。
- 長岡 素巳 H. 7. 5 (1995) 指導講師「平成7年度 中学校社会科教育講座」島根県立松江教育センター。
 —— H. 7. 9 (1995) 講義「新学力観に立つ社会科授業」島根大学社会科教育法特講、島根大学教育学部。
- 斎藤 英明 H. 7. 8 (1995) 指導講師「特殊学級の小中一貫の進路指導のあり方」安来市能義郡教育研究会、安来市中央公民館。
 —— H. 7. 8 (1995) 指導講師「教材教具製作の指導」平成7年度特殊教育教材教具開発講座、島根県立松江教育センター。
 —— H. 7. 10(1995) 指導講師「教材教具開発の指導」(特殊教育諸学校)平成2年度第2回初任者研修、島根県立松江教育センター。
- 長沢 郁夫 H. 8. 1 (1996) 講義「電気領域における学習指導のあり方」技術科教育法、島根大学教育学部。
- 岩田 靖 H. 7. 8 (1995) 指導講師「中学校社会科の授業づくり」平成7年度第3回中学校社会科初任者研修会、島根県立松江教育センター。
 —— H. 7. 10(1995) 講義「『自ら学ぶ力』を育てる学習指導と新学力観」中等社会科教育法概説、島根大学教育学部。
- 佐藤 文宣 H. 7. 11(1995) 指導講師「単元学習への提案」平成7年度中学校・高等学校国語科教育講座・島根県立松江教育センター。
- 渡部 睦治 H. 7. 7 (1995) 講演「島根大学教育学部附属中学校第一学年における授業実践について」島根大学教育学部中学課程英語科研修会、島根大学教育学部。
- 安達 直幸 H. 7. 11(1995) 講義「教育実習授業の分析 I」島根大学教育学部。
- 三島 香子 H. 7. 12(1995) 講義「家庭生活領域における学習」中等家庭科教育法概説、島根大学教育学部。

研究紀要 第38号

平成8年7月29日 印刷

平成8年7月29日 発行

発 行 島根大学教育学部附属中学校
〒690 松江市菅田町167-1
TEL (0852) 23-1421
FAX (0852) 31-1200
印 刷 松陽印刷所

